

裾野市からの電話を通して CS通信 (CSへの思い、願い) 第5号



7月のいつごろだったか、「裾野市教育委員会 学校教育課の小濱と申しますが…」と、市教委に電話がありました。話を聞くと、『昨年から指導主事になり、CS (コミュニティ・スクール) の担当となった。裾野市には14校 (小学校9校、中学校5校) あり、来年3校モデル校として立ち上げ次年度には全校設置を目指したい。参考になる市町を紹介してほしいと県教委に相談したら、牧之原市を紹介していただいた。』とのこと。もう少し詳しく言う

と、「9月に裾野市では、立ち上げに向けて第1回目の会合を企画しているけれども、勝間田小学校のCS立ち上げの様子を、発表していただけないか」ということでした。発表に関しては、直接勝間田小学校に連絡をしてもらうことにしました。(勝間田小学校長は、快く快諾してくれたようです。)

電話の様子が少し途方に暮れている感じだったので、少し話をすると、彼はこんな話をしてくれました。『自分 (小濱指導主事) が、裾野市の校長先生方にCS立ち上げのお願いをすると、どの校長先生方も「地域の方々も、支援やゲストティーチャーとして良い具合に入ってくれているし、わざわざCSとして立ち上げる必要はないんじゃないか。」「地域の方の入り方は、今ぐらいでちょうどいい。」「学校運営協議会として地域の方々が入ると守秘義務という点が心配だ。」「地域の声は、保護者や評議員に意見をうかがうのでよいのではないか。」「CSには、人事に関する意見…。なんていうのはどういうことなのか。』など、多くの校長先生からCSに関してやや消極的な言葉が返ってくる。その言葉に対して理解していただく返答ができない。自分自身CSのよさが実感できていない』と語ってくれました。



彼の話聞いて、小濱指導主事さんは、校長先生方がわかってくれないと思ったようですが、私は校長先生方の気持ちがわかる気がしました。というのも、私自身、退職間近の1月、市教委石川さん (パワフル) と杉村さん (パワフル) が、あの生重さん (最強にパワフル) と県教委CS担当 (とても穏やか) といっしょに校長室に、CS導入に関するヒアリングに来たのです。私は、裾野市の校長先生方以上に、CSに関して後ろ向きな返事をしたことを覚えています。当時、自分たちの学ぶ場を自分たちで高めていこうという姿勢を校風として根付かせたいと経営を進めており、様々



な活動に主体的に取り組む生徒の活動がたくさん見られるようになっていましたので、地域の方に入っていたいで学校をつくろうという考え方になれませんでした。もう少し言えば、地域の方に協力していただくこと、地域に協力することは積極的に受け入れたと思うけれども、地域の方々と一緒に学校を創っていこうという

CSは、イメージできませんでした。また、現在の忙しい学校運営の中に、地域の方に入っていたくことで、先生方が地域の方に気を配り、さらに忙しくなってしまうシステムではないかといった

気持ちもありました。つまり、校長という職は、それぞれめざす学校像があり、その目標に向かう教育計画を進め、その中に新たな取組を入れるためには、確かにその取組が生徒のためになると思えなければ、さらに職員の多忙化につながると思うと、その取組に対し、様子を見るという考え方になるのだと思います。そういう考え方で裾野市の校長先生方も、やや消極的な返事をしていたのではないで



しょうか。でも、今私は、生重さん、井上さん、竹原さんといった CS マイスターに出会い、語り合い、さらに、小西哲也先生（この方も CS マイスター；山口県で、県教委、校長を経験し退職後、現在兵庫教育大教職大学院教授）の「奇跡の学校」（書籍）を読み、考え方が変わりました。今の私の思いですが、『これからの社会を考えたとき、子どもたちには、より主体的に生き抜こうという人間力、社会性を身につける必要がある。そういう力は、より多くの人と対話し、身を持って体験し



たりすることで育まれる。それは、学校だけでなく、地域の方にも学び、地域の方からも認められ自信を持ち、地域の大人と協働することで、今まで以上に、地域を愛し、自己の将来に目標をもった子供が育つ。すぐに形にならなくとも、子どもたちのことを考えるのが、先生だけでなく、地域の人（学校運営協議会）もいてくれる。子どもたちを育てようという当事者意識をもった人が教員だけでなく、地域の中になるようになる。校長としての方針

を受け止め、みんなで育てる。まさにみんなの学校だなあ』と思うようになりました。これから立ち上げる市内の小中学校も、何か花火のような打ち上げのことを考えるのではなく、学校の教育目標（方針）を受け止めつつ、一緒に子どもたちのことを考える仲間、組織をつくるという考え方で立ち上げてほしいという思いをもって、各校長先生方に立ち上げをお願いしているところです。微力ですが、協力させていただきます。

ところで、裾野市の小濱指導主事は、7月30日牧之原市を訪れ、萩間小学校の校長先生、坪池 CS ディレクターと「ちょっくら」で話し、ゼイビアカレーで昼食をとり、さらに勝間田小学校に行き、中嶋教頭先生から立ち上げの話を伺い、櫻井校長、大塚学校運営協議会会長、鈴木 CS ディレクター等と話をしました。小濱指導主事から、先日こんなコメントを教育委員会にいただきました。



「訪問させていただいたことで、私自身が CS に対して前向きなイメージを持つことができました。今回お会いできた方々が皆とても楽しんでとりくんでいるように見えました。「楽しそうでないと、始められない」「学校だけに任せて、郷土愛を育むことができるのか」「学校の子供たちを愛してくれる人が増えたという実感がある」など、印象的な言葉がたくさん聞いたことがとてもうれしかったです。」